

第78回

総研セミナー開催案内

下記のとおり「総研セミナー」を開催いたします。
本セミナーには、本学の教職員はもちろん学生、どなたでも自由に参加
できます。是非、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

日時：2013年11月21日(木) 13:00～15:00

場所：総合研究所コンファレンスホール

テーマ：ミリ波試験用スペクトラム計測技術の研究開発

講演：1)13:00～13:05 総合研究所 所長挨拶

総合研究所 所長 丸泉 琢也

2)13:05～13:45「未利用周波数帯の研究開発動向と今後の戦略」

NICT未来ICT研究所 超高周波ICT研究室長 笠松 章史氏

3)13:45～14:15「マイクロ波ミリ波技術とNICTにおけるデバイス研究の話題」

NICT 未来ICT研究所 企画室 広瀬 信光氏

4)14:15～15:00「ミリ波試験用スペクトラム計測技術の研究計画」

東京都市大学総合研究所 客員教授 松井 敏明氏

概要：

平成25年度総務省SCOPE先進的電波有効利用型研究開発に係る新規の研究開発課題として、「ミリ波試験用スペクトラム計測技術の研究開発」が採択され、今秋より研究を開始しました。本課題は東京都市大学総合研究所と独立行政法人情報通信研究機構（NICT; National Institute of Information and Communications Technology）との共同提案課題として採択され、本学総合研究所とNICTとの共同研究体制において研究開発が進められる予定です。本研究課題は急速な拡大を見せる無線周波数の利用技術の今後の重要な基盤技術となる新しい計測試験技術の開発を目指すものであり、平成25年度～平成27年度の3年間の予定で、現在、新しい無線周波数の利用技術として世界的に最も活発な研究開発が進められている、59-67GHz帯技術への対応を中心に据え、各種のミリ波無線装置の試作開発や、ミリ波無線装置の試験評価のための基盤技術として求められる60～140GHz帯のミリ波試験用スペクトラム計測技術の開発を目指している。

本セミナーでは、急速にその利用が拡大する無線技術の現状と現実に直面する周波数逼迫の状況、および長期的な無線周波数の有効利用技術の確保が求められる状況を紹介し、同時に、現在、国際的に進められている未利用周波数帯の技術研究開発動向と、NICTにおける研究開発と今後の戦略について話題にする。さらに、本研究計画の概要を紹介させて頂くとともに、世界的なミリ波技術研究開発の動きの中における本課題の研究の狙い、技術的位置付けについて述べる。

お問い合わせ先：東京都市大学総合研究所事務室

東京都世田谷区等々力8-15-1

TEL: 03-5706-3111 FAX: 03-5706-3786

<http://www.arl.tcu.ac.jp/>